

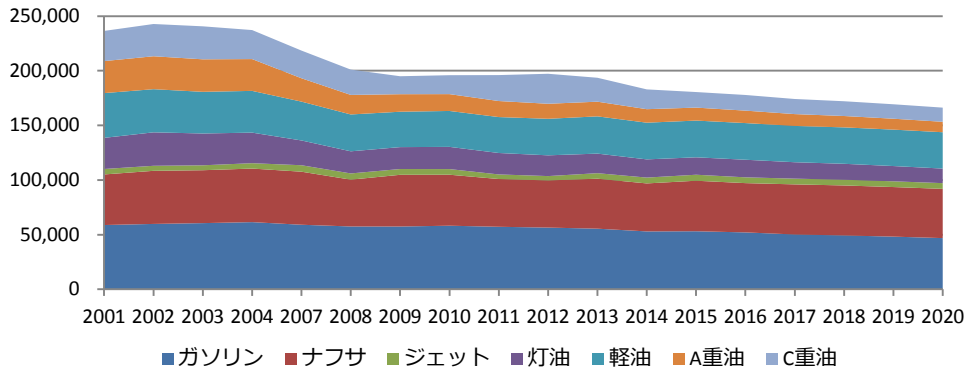
石油精製分野における課題認識と 政策の方向性

平成29年2月27日
資源エネルギー庁
資源・燃料部

我が国石油精製業を巡る国内外の環境変化

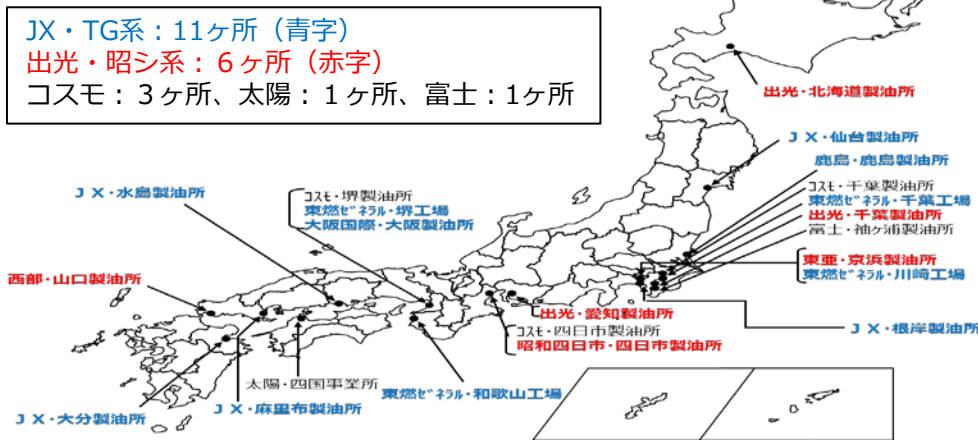
- (国内) ◆ **需要減少のトレンドは今後も継続**。特にガソリン及び電力向け重油の需要減少が進む可能性。
- ◆ **企業統合・連携が進展する結果**、物流合理化や生産設備最適化等の競争力強化に取り組みやすい環境に。
- (海外) ◆ 中国等における環境規制強化等により製品の品質差が改善。今後、中国沿岸部や新興国の製油所における生産拡大等の影響により、**これまで以上に製油所間の国際競争が激化**。
- ◆ **アジア市場の成長は継続**。当面は需要が供給力を上回るとの見通しも。他方、中国の存在感が高まり、同国内の需給状況が市場に大きく影響する側面も。
- ◆ シェール革命や I M O 規制強化により、**非在来型原油・重質原油の取扱いが競争力に影響**する可能性。

我が国の石油製品需要の推移と見通し (kl)

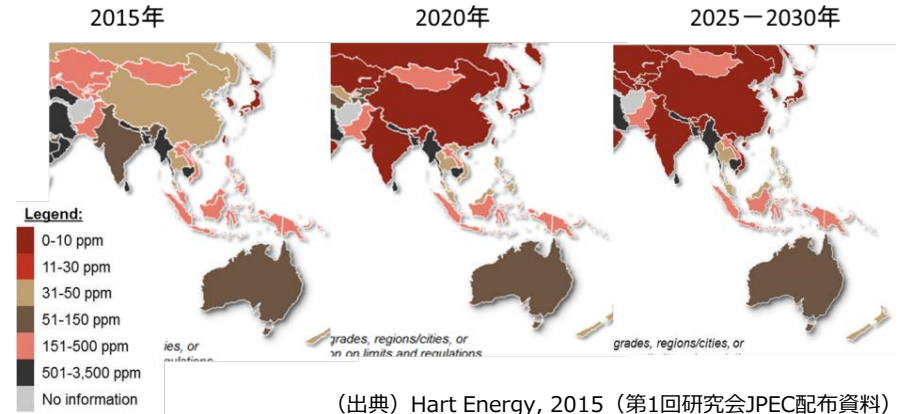


(出典) 2015年度までは、資源・エネルギー統計の実績。2016年度以降は、資源エネルギー庁「石油製品需要見通し」。

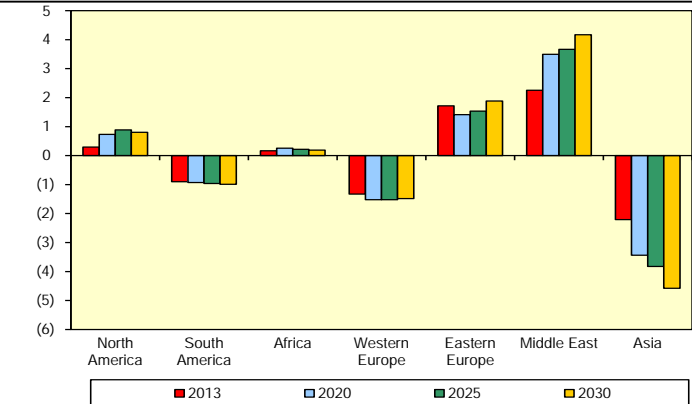
我が国の製油所の立地状況



アジアにおけるガソリンの硫黄分規制



世界の地域別取引石油製品取引量 (百万BD)



S3_02380.001.01.xlsx/F3.2

(出典) Nexant資料 (2014) (第1回研究会JPEC説明資料)

国内外の環境変化による国内石油精製業への影響と懸念点

(環境変化：国内需要の減少、国際競争の激化)

国内需要の減少

国内石油製品需要はガソリン・重油を中心に今後も継続的に減少。

【想定される影響】



- 供給インフラ維持のための投資確保が困難に。
- 災害等緊急時の対応能力が低下。
- 国際石油市場におけるプレゼンスの低下。
- 人材確保が困難に。

国際競争の激化

品質差の縮小や中国沿岸部やアジア・中東等の製油所の新増設により、製油所間の国際競争が激化。

【想定される影響】



- 中国・インド等の国内需給動向がアジア市場を左右。日本は輸出入両面で、影響を受けやすい立場に。
- 国内外の石油製品取引市場の一体化が進展。



需要減少状況下での厳しい国際競争がもたらす懸念点

- 国内需要の減少に併せて供給力を下げる対応では縮小スパイラルに陥り、投資の確保が困難になる懸念。
⇒ 新規設備導入やメンテナンス等の投資が控えられ、国際競争力を低下させる可能性。
- 豪州など輸出先での競合が激化、輸入圧力も高まる懸念。
⇒ 国際競争力の低い、輸入等価が実現できない製油所の生き残りが困難になる可能性。

➡ 国内石油精製業が国際競争力を持たなければ、中長期的に国内の低廉かつ安定的な供給を支えるサプライチェーンの維持が困難に。

懸念克服に向けた対応の可能性・機会

(環境変化：企業統合の進展、アジア市場の拡大)

国内の業界再編の進展

国内需要の減少や外資撤退等を踏まえ、国内石油精製元売企業による企業統合等、事業再編の取組が進展。

【想定される影響】

- ・生産設備適正化や物流合理化等、統合シナジーが期待。
- ・事業規模の拡大、経営・財務基盤の強化により、新たな投資のための資金を確保しやすい状況に。

アジア市場の拡大

アジア地域の需要は経済成長に併せて増加。製油所の新增設が進むものの、当面は需要>供給力。

【想定される影響】

- ・我が国製油所が競争力を持てば、輸出先を確保しやすい環境に。
- ・我が国企業が、アジア地域等での精製・卸・小売等に参入する機会が豊富。

国内の業界再編の進展とアジア市場の拡大がもたらす機会

- 統合によるシナジーが期待される数年間、新たな成長に向けた投資を実施しやすい機会
⇒ 縮小する国内市場に売上げの大半を依存する現状から脱却し、アジア市場をはじめ他の成長分野に事業ポートフォリオをシフトすることで、将来の安定的な経営基盤獲得につながる可能性。
- アジア地域等への輸出、精製・卸小売等への参入など、グローバル市場における石油製品の取扱い量を増加させやすい機会
⇒ アジア市場への参入と既存の国内事業との連携等を進め、世界の石油製品市場・原油市場におけるプレゼンスを向上させ、将来の柔軟で強靱な供給能力獲得につながる可能性。

➡ 企業統合等事業再編のシナジーを、国際競争力強化・アジア市場獲得等につなげ、将来の安定供給基盤の確保に。

今後の政策的支援の方向性

(製油所の国際競争力強化と国内企業の海外展開)

将来の安定供給を支えるサプライチェーン構築に向けた政策的支援の方向性

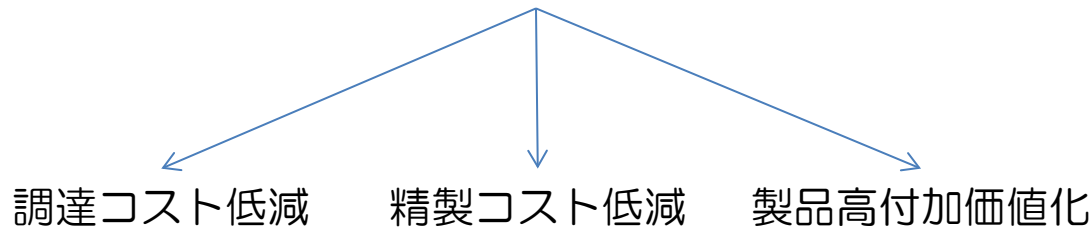
① 国内製油所の国際競争力強化

- 輸入等価が実現できない製油所は生き残れないことを踏まえ、調達・精製コストの低減、製品の高付加価値化に資する取組を促進する。特に、一部の製油所では恒常的な輸出競争力の獲得を促進する。
 - 企業内の既存設備の有効活用、資本を超えた地域内協力による設備の有効利用
 - 競争力の高い製油所について更に生産性を高め、柔軟な輸出を可能とする投資 等

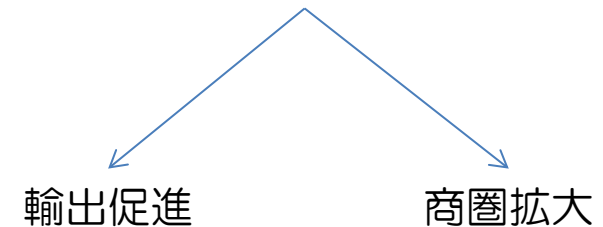
② 石油精製事業による海外展開の促進

- 海外において、精製・輸送・卸小売等様々な分野での商圈を拡大し、グローバル・バリューチェーン／サプライチェーンの構築、国内外の需給動向などに柔軟に対応できる強靱な経営基盤づくりを促進する。
 - アジア等成長市場への参入機会の発掘、案件形成、現地政府等との調整 等

国内製油所の国際競争力強化



国内企業の海外展開



政策支援の例①国内製油所の国際競争力強化

類型	主な取り組み	主な政策支援の例
調達コストの低減	精製可能な原油種類の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 非在来型原油や重質原油を処理可能とする装置への投資の促進・研究開発の実施。 ✓ 高度化法告示等による重質油分解装置の有効利用の促進。
	輸送コストの合理化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内事業者間・アジア域内における協力、産油国共同備蓄事業活用の検討。
精製コストの低減	保守・点検コストの低減	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 稼働信頼性向上に向けた現行規制の再点検。 ✓ IoT実証事業の継続・拡充。
	エネルギーコストの低減	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 隣接設備との用益融通、コンビナート内連携等の促進。 ✓ 省エネ設備投資の促進。
生産製品の高付加価値化	原油の更なる有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高度化法告示等による重質油分解能力向上の促進。 ✓ 石油化学原料など高付加価値製品の得率向上の促進。
	製品選択の柔軟性向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 需給状況に応じ柔軟に生産体制の構築の促進。 ✓ 精製プロセスの高度化に向けた研究開発の促進。
	供給先の柔軟性向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 輸出能力強化に向けたオフサイト設備（棧橋、タンク）整備の促進。

※ この他、共通の対応として、コンビナート・隣接地域全体での生産性向上につながる石油・石油化学等の更なる連携に取り組む。

政策支援の例②国内企業による海外展開の促進

海外展開の類型	支援対象の例	政策支援の方向性
海外市場への参入 (精製事業、ターミナル事業 卸売・小売販売事業等)	新規案件の発掘、事業の形成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報収集体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・在外政府系機関における情報収集体制の強化 ・主要国の動向の定点観測（調査）の実施
	現地政府・国営石油会社との調整・橋渡し	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 政府間の継続的な関係構築 <ul style="list-style-type: none"> ・バイ・マルチでの定例政府間対話の創設・拡充 ・主要国でのセミナー開催・ミッション派遣等 ✓ 投資対象国における規制に係る調整の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・外資規制・環境規制等の参入障壁の除外 ・（参入先国での）先行者利益の確保 等
	具体的なプロジェクトへの金融面での支援	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外事業リスクの軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・出資・融資への金融支援（利子補給制度等） ・リスクヘッジ支援（貿易保険等） 等
国内製油所からの輸出	輸出競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 輸出インフラの拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・製油所オフサイト（タンク・棧橋）の充実に に向けた投資喚起（①から再掲） ✓ 輸出促進に向けた事業環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・輸出相手国との関税交渉 等

※ この他、総合エネルギー企業化に向けた取組についても政策支援を行う。

総合エネルギー企業化	電力・ガス市場への進出	✓ エネルギーシステム改革議論
------------	-------------	-----------------